

平成27年3月23日

全国米穀販売事業共済協同組合

### 中長期米取引の場の開設について

最近における米の価格については、23年産米の高騰に始まり、25年、26年産米は下落と、大きく変動しました。

農業では、経営感覚を持った農業経営者が活躍できる環境の整備が進められています。米についても、平成30年度を目途に、行政による生産数量目標の配分に頼らずとも円滑に需要に応じた生産が行われるよう安定取引の推進等の取組が進められています。

米は、収穫後、1年あるいはそれ以上の期間をかけ、生産者の直接販売、出荷事業者、流通事業者を経由する等いろいろな経路をたどって、消費者、実需者に届けられています。

現在、価格形成の場としては、全国出荷団体による年間を通じた取引の場と、スポット的な取引の場があります。

しかし、これらの取引は、生産者には価格が見えにくい、あるいは年間を通じた価格ではないということがあります。

このたび、全米販は、(株)クリスタルライスにお願いし、既存のスポット的な取引の場とは異なる、年間を通じた中長期な米の取引の場を開設することにしました。

この取引の場が、多くの方のご参加を頂き、国産米の生産振興と安定的な米取引の実現にむけ、貢献できることを願っております。